

科学の「甲子園」長崎県予選に参加しました。

11月16日(日)に長崎大学で開かれた「科学の甲子園」長崎県代表選者に参加しました。

これは、長崎県教育委員会と長崎大学が主催するもので、高等学校の生徒が、仲間と協力しながら、理科・数学・科学技術の複数分野に取り組むことで、創造力、思考力、基礎知識の活用能力を育成する機会になることを目的に開かれるものです。長崎南高は科学部の1・2年生の混成チーム7名で、2時間の筆記競技と1時間半の実技競技に臨みました。結果は、1・2年生の混成チームながら3位という結果でした。

筆記競技

物理・化学・生物・地学の難問12問に6人で協力して挑みます。試験時間は2時間です。普段の定期考査の問題とは違い高度な思考力が必要で、解けそうで解けない。2時間が短く感じます。



分担・協力して問題に取り組めます。

講演

競技が終わったら、長崎大学の呉屋先生の講演です。「熱と温度」についての講義で、実験をしながらの講義で、最後には、浮沈子を使った実験もありました。



会場は長崎大学でした。

実技試験

実技試験は4名で行います。まず、2名が組み立てられた図形を、文章で記録します。残りの2名は、その文章をもとに、図形を組み立てます。そして、より、もとの図形に近いチームの得点が高くなります。



集中力がある細かい作業です。